

【北海道】「最初は更生法を適用した会社ということで、社会からの目は厳しかった。多額の負債を抱えるなど厳しい船出だった」と振り返るのは、ネクスト



(北海道北広島市)の岩村大樹社長(58)。

2007年、旧東日本輸送の会社更生法申請に伴い、親会社の国際総合物流

ネクスト 岩村 大樹さん

企業、三協(藤木幸三社長、

語る。

横浜市中区)から岩村氏を社長に迎え、ネクストとして事業をスタート。北海道一本州間のトレーラ輸送をメインに手掛け、設立から5年間で債務超過から抜け出し、黒字転換した。

出向当初、陸上輸送の知識がほとんどなかったため、社員に協力を求めると共に自分の気持ちを一人ひとりに伝え、互いの理解を深めることに尽力。そして「絶対に成功するんだ」と

更には、離れていった取引先との関係修復と新規顧客獲得へ飛び込み営業に奔走。「価格での勝負はしない」を信条に、安全性優良事業所認定(Gマーク)やグリーン経営認証を次々と

逆境はねのけ黒字転換

「リーマン・ショック、昨年の東日本大震災など、何度も厳しい局面に直面した。しかし、その逆境が我々

という社長の気持ちと、リーダーを求めている社員の

取得し、輸送品質向上に注力。正々堂々と大手企業に売り込み、仕事を増やしていった。

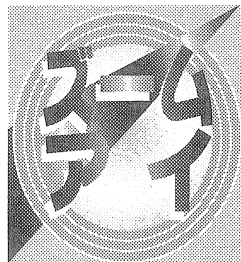
をより固い絆で結び、各自が強い意思を持った積極的な集団へと成長させた」と

神をモットーに事務職、ドライバーの垣根を超えた意

「優秀な人材にも恵まれ、気持ちを共有できたからこそ、新たなスタート地

本州拠点、増設も視野

点に立てたと思う。今後は、全国の協力会社とのネットワークを最大限に生かして輸送サービスを強化すると共に、本州拠点の増設を視野に事業を展開してい



きたい」と、一層の意欲を見せる。

青森県弘前市生まれ。

(北原 進之輔)